

臨時農業生産情報

(降霜に対する技術対策)

令和4年4月28日
青森県「攻めの農林水産業」推進本部

青森地方气象台によると、県内では29日(金)の朝は冷え込み、霜のおりるおそれがあります。さらに、「強い霜に関する青森県気象情報 第1号(2022年4月28日10時53分)」によると、30日(土)の朝は強い霜による被害のおそれがあり、今後数日も降霜に対する注意が必要です。

この時期の農作物は、降霜等の影響を受けやすく、特にりんご等果樹の開花期は、最も低温に弱い時期となることから、今後の気象情報に注意し、次の事項に留意して、被害の未然防止と軽減に努めてください。

1 水稲

- (1) 育苗中の苗は、保温資材で保護するか暖房器具で加温する。
- (2) トンネル育苗では、保温資材で二重被膜するか育苗箱の肩の高さまで湛水する(排水良好な苗代に限る)。
- (3) 霜害を受けた場合は、速やかに苗に散水し、被害の軽減に努める。

2 野菜・花き

- (1) ハウス栽培では、保温資材で被覆するか暖房器具で加温する。
- (2) トンネル栽培では、保温資材で二重被覆する。
- (3) 露地栽培の場合は、べたがけ資材で被覆する。
- (4) 被害を受けても回復の見込みがある場合は、早急に葉面散布剤などの散布により、回復に努める。

3 りんご等果樹

- (1) 防霜ファンが設置されている園地では、ファンの始動温度を2℃に設定し、著しく低温になったときは、燃焼法を併用する。
- (2) 燃焼法では、気温が0℃になったら燃焼資材に点火する。
- (3) ぶどうの無加温ハウスでは、石油ストーブ等で加温する。
- (4) 結実量を確保するために人手授粉を丁寧に行う。



報道機関用提供資料	
担当課 担当者	(水稲) 農産園芸課稲作・畑作振興グループ GM 成田 真樹 (野菜・花き) 農産園芸課野菜・花き振興グループ【発行元】 GM 木下 均 (りんご等果樹) りんご果樹課生産振興グループ GM 白川 裕
電話番号	(水稲・畑作) 直通 017-734-9480 内線 5073 (野菜・花き) 直通 017-734-9481 内線 5076 (りんご等果樹) 直通 017-734-9492 内線 5092
報道監	農林水産部 次長(農商工連携推進監) 成田 澄人(内線:4967)

【おしらせ】

青森県では、臨時農業生産情報をパソコンやスマートフォンにメール配信するサービスを実施しています。青森県農業情報のホームページ「アップルネット」からお申し込み下さい。

県民の皆さまへのお願い
新型コロナ感染拡大防止



<https://www.pref.aomori.lg.jp/koho/covid19kakudaiboushi.html>